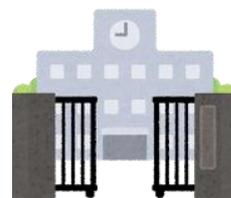


「雑草でも生きる努力をしています」

校長 桐野 和之

皆さんは京セラという会社を知っているでしょうか。サッカーの京都サンガFCというチームのユニフォームにはこの社名が記されています。また、大阪に京セラドームという名前の野球スタジアムがあることを知っている人もいないのでしょうか。

京セラの「セラ」はセラミックスのことです。もともとは茶碗などの陶磁器を指している言葉でしたが、最近は耐火物、ガラス、セメントを含む非金属・無機材料をさして使用されることが多く、現在では「非金属・無機材料で、その製造工程において高温処理を受けたもの」という定義があります。そして、セラミックスの中でも、特にエレクトロニクス産業をはじめ、各種産業用途に用いられる磁器は、高い性能や精度が要求されることから、現在では「ファインセラミックス」と呼んで、粘度や珪石などの自然材料からつくられる一般の陶磁器と区別しています。



このファインセラミックスという新材料の合成に成功して創業し、今や世界的な企業になったのが、京セラという京都市に本社を置く電子機器、情報通信機器、太陽電池などをつくる会社です。この京セラの創業者で、名誉会長、そして経営が悪化した日本航空の再建で力を発揮したことで有名なのが稲盛和夫さんです。

「雑草でも生きる努力をしています」

この言葉で稲盛さんは若い人たちに努力することの大切さを伝えています。

「道端で生えている雑草、名も知れない草でも、必死に生きています。そうした草は、アスファルトの割れ目であっても、日が強く差す夏の暑い日であっても、カンカン照りの煮えたぎるような中で、狭さや暑さにも負けずに花を咲かせ、種を残そうと必死になって生きています。雑草一本でさえ、苦しみに耐えて、生きているわけです。」「どんな環境であれ、必死で生きていない動植物は、みな息絶えてしまいます。一生懸命努力するからこそ、生き残っているわけです。だから人間も生きるためには、必死で努力することは、当たり前のことだと思えます。」と語ります。



稲盛さんは、受験に失敗し、家が貧しくて希望する大学に進めなかったことがありました。大学を卒業するときは超就職難。やっと入れた会社も赤字続きでつぶれかけるなど、何度も挫折を経験しました。しかし、ファインセラミックスの合成に成功して会社を立て直しました。その後、事情がありその会社は辞めましたが、研究成果を生かすために、自ら従業員28名で京セラの前身となる会社を興し、社員とともに地道な努力を重ね世界的企業に育てあげました。雑草が何回も何回も、人に踏まれたり、厳しい生育環境の中にあたりしながらも、たくましく花を咲かせていくような人生を稲盛さん自身が歩んできたのです。

皆さんにも自分の思いを実現するために努力を継続し、豊かな人生を送ってほしいと期待しています。

二年生校外学習「都内めぐり」

11月28日(火)に二年生の校外学習が実施されました。「都内めぐり」です。首都東京で生活している中学生の特権でしょうか。地方の中学生からすると羨ましく思うような、修学旅行級の見学や学びを体験できる機会となりました。

生徒たちが見学や体験先として選んだ場所には、日本テレビ、読売新聞、平和祈念展示資料館、日本銀行本店、深川江戸資料館、浅草寺、雷門、西郷隆盛像、NHK、江戸伝統工芸館、江戸城天守閣跡地、大手町、東証アローズ、JICA地球の広場、地方裁判所と裁判傍聴、その他です。テレビ局の見学を予定していた生徒たちは見学前から、「芸能人に会えるかな？」の期待をもった行動計画の立案となりました。

当日の行動では、学校に一名の先生が緊急対応要員として会議室で待機し、生徒たちが東京都内を駆け巡っている最中のトラブルや困った際の相談対応をとりました。途中いくつか連絡がありましたが、大きなトラブルや想定外の事故等は一切ない楽しい一日となりました。

最終の解散時刻は午後4時から午後4時半を予定していましたが、見学場所での特別な計らいで遅くなった班以外はほぼ予定どおりに行動できていました。特に感心したのはその遅くなった班の生徒から、途中の乗換駅で現在地を知らせてくる心遣いのある連絡があったことです。先生が心配しているだろうなという思いから、気が利いた粋な連絡に心が温まりました。



NPO柔道教育ソリダリティの学校訪問

貫井中学校では、NPO柔道教育ソリダリティの学校訪問を11月30日(木)に受けました。

このNPO団体の目的は、(1)柔道の国際的普及・進行、(2)柔道を通じた文化交流・異文化理解、(3)柔道を通じた青少年の育成にあります。7カ国から8名の将来、各国の柔道指導者となる意思をもった若い柔道家の方々が中学校を訪問されました。

オリンピック・パラリンピック教育アワード校に指定されている貫井中学校にとっては素晴らしい機会。授業の参観、給食の試食と休み時間の交流、茶華道部によるお点前体験など、いろいろな場面で貫井中生と交流を深めました。異国の方々の大勢の訪問を受けた生徒たちも、いろいろと英語を交えながら会話をし、大喜びで歓迎をしました。また、生徒の中には予めその国の言葉で質問を考えてきた生徒もいて、大変楽しい時間を過ごしました。生徒たちにとっては国際交流とともに、異文化理解になる有益な場になりました。



なお、このNPO団体の活動は東海大学の教授・副学長で全日本柔道連盟会長、1984年ロサンゼルスオリンピック柔道無差別級金メダリストの山下泰裕先生が始めたことを紹介させていただきます。



1年生 理科研究授業 11/27 第5校時

本日、教師道場の研究の一環として1年生の理科研究授業が実施されました。

内容は「身のまわりの現象」です。授業では大気圧が変わるさまざまな実験について、結果を予測する内容を中心に進められました。

真空ポンプを使い、①空き缶を減圧したとき、②一升瓶を減圧したとき、③瓶に入れたビールを減圧したとき、④減圧した一升瓶を水槽の水につけてフタを外したとき、⑤お菓子の袋を減圧したとき、⑥マシュマロを入れて減圧したとき、⑦卵を入れて減圧したとき、⑧フィルムケースを入れて減圧したとき、などの実験で起こる現象を生徒が予想し、その理由についてグループで話し合い、伝え合うことが中心に授業は進みました。

目では見ることができない力の存在について考え、なぜそのようになるのか、理由を考え説明する授業でした。先生の行う実験を生徒たちは楽しみながら観察していました。

次から次へと実験が繰り返され、子どもたちの関心が高まってきました。生徒自身も予想を繰り返していくうちに現象への理解と認識が深まってきました。また、実験は参観していて楽しいものばかりでした。



3年生主権者教育「選挙教室」

11/24 1校時

本日、3年生では社会科の授業の一環として主権者教育「選挙教室」が練馬区選挙管理委員会の方々に講師として来校していただき、実施しました。授業は中学校卒業後の3年後に選挙権を取得する生徒の選挙への意識を高める目的で実施しました。

授業では、講師の方より「政治って何?」「政治のイメージは?」などと問いかけられながら進められました。

さらに学校周辺の写真を見ながら、政治の関わっている部分をグループで話し合い、まとめながら進みました。また、家族が食事に行く場所の意思決定を例に、政治のあり方や選挙について考える機会をもちました。

最後には、前もって配布してもらっていた今年の衆院選の選挙広報から、実際の記載台や投票箱を利用して投票する経験を積みました。



朝礼講話 12/4

立冬が過ぎ、暦どおりに寒くなってきました。天気予報では冬将軍到来という言い方がされていました。外では木枯らしが吹き、世間では木の葉もバラバラと落ち、竹ぼうきが活躍する日が続いています。

ところで皆さんは菜の花を知っていますよね。菜の花は、秋に種をまき、少しずつ若芽を伸ばし、三寸ぐらいの大きさになって北風に吹かれています。花はそのままほとんど成長せずに霜や雪にじっと耐え、年を越して、春に一面満開の花を咲かせるのです。菜の花はアブラナとも言って、昔から菜種油を取ったり、食用にしたりするために栽培

されてきました。

皆さんもテレビなどで見て知っているかもしれませんが、一本、二本ではなく、畑一面に栽培されています。塩分にも強い植物なのだそうで、下北半島の青森県横浜町では100ヘクタールをこえる一面の菜の花畑が広がっていることで有名です。そんな強い菜の花でも、植える時期を誤るとうまく結実しなかったり、丈が十分に伸びなかったりします。あまり遅い時期に種を蒔くと、ひょろりとした丈にしか育たず、花も小さなものしかつけません。

菜の花と同じように、人も成長するときのタイミングが大切です。中学生は勉強や部活動が忙しくて、土日あまり休めないという話を聞くことがあります。小学生の時間の過ごし方と比較すると、とても忙しくなっていると思います。しかし、鍛えるべき時にきちんと鍛え努力していくと、その人の生涯にとって大きな財産になっていくはずで、部活動の早朝練習などで冬の朝に起きる時などは、辛いものがあります。辛いことを越えていく、その修練が技術だけでなく、意思の力を育て、次へのステップにつながっていくのです。

ただ、人が菜の花と違うのは、今は何をしようか、そして次はと考え、選ぶことを自分の意思で決定することができることです。そして、忙しいなかに少し休みを見つけて、ほっと一息つく、その繰り返しを学んでいくことで、不思議と余裕が生まれます。

ちなみに菜の花の花言葉は、「快活」「活発」「競争」そして「元気いっぱい」だそうです。皆さんには辛いことを越えながら、意志の強い人に育ってほしいと思います。

部活動等の報告

男子柔道部…第19回第3ブロック新人柔道大会：平成29年9月17日(日)

結果：男子81kg級 1年 Hさん 第2位

男子66kg級 1年 Kさん 第3位

第54回練馬区中学校生徒総合体育大会柔道競技の部新人大会：平成29年10月21日(土)

結果：男子個人戦 66kg超級 1年 Hさん 第1位

女子柔道部…

第54回練馬区中学校生徒総合体育大会柔道競技の部新人大会：平成29年10月21日(土)

結果：女子個人戦 44kg級 1年 Sさん 優勝、Nさん 第2位

2年 Eさん 第3位

52kg級 2年 Kさん 第3位

52kg超級 1年 Mさん 第1位、Nさん 第2位

Iさん 第3位

卓球部…第70回中学生総合体育大会卓球新人大会(個人)：平成29年11月4日(土)

結果：個人 2年 Kさん(ベスト16)、Mさん(ベスト32)

1年 Sさん(2回戦敗退)、Nさん(1回戦敗退)

団体 第5位(ベスト8)

国語科…練馬区読書感想文コンクール(夏休みの課題)

優秀賞；3年 Tさん、2年 Aさん

佳作；3年 Oさん、2年 Nさん、1年 Nさん、Kさん

美術科…歯・口の健康に関する図画ポスターコンクール

特賞；3年 Iさん、優秀賞；3年 Kさん、Kさん、Nさん

歯科医師会賞；3年 Tさん、Kさん、Sさん

食育部…「練馬区独立70周年記念第11回自分で作る朝ごはんコンクール」

銅賞；2年 Sさん

奨励賞；2年 Sさん、Yさん、Iさん、Nさん、Eさん、Oさん、Oさん、Hさん、Mさん